

市民は科学を変えることができるのか：

「つながり」を「ちから」にする方法について

2017年1月21日（土）13:00 ぐらい～14:30 ぐらい

ゲスト 上田 昌文 さん

NPO 法人 市民科学研究室 代表理事

20世紀の後半になって、戦争、環境破壊、貧困や格差といった問題が深刻化し、そうした問題発生の基底に、開発と成長を生み支える構造の一部として科学技術があることへの反省の意識が生まれました。一般市民も「知る・学ぶ・身につける」段階からさらに踏み込んで「自身で編集し活用する」「批判する」「自ら調査し問題解決につなげる」ことが求められるようになってきたのです。市民科学研究室の現在の主だった活動を例にして、市民が主体となった科学技術社会問題へのアプローチの可能性を論じます。（ゲストより）

会場 京都大学 吉田泉殿

* 京町家風の建物です。

* 普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意を。

* 入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

持ち物 ランチ

スケジュール

13:00	開場
13:00-13:15	ゆるゆる集まる&互いに自己紹介
13:15-14:00	ゲストからの話題提供
14:00-14:30	ゆるゆる質疑応答&互いに議論
14:30-	ゆるゆる解散



主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志
(一方井 祐子、水町 衣里、加納 圭、吉澤 剛)